

# 未来へのカケハシ・イニシアティブ

強固な日米関係が70年を迎える今年、日米関係の未来のために、日本政府は、人的交流の更なる強化を目指し、**総額30億円規模**の以下の取組を行うことを発表。

## 1 次世代の日米関係を見据えた交流

### (1) 高校・大学生交流

米国の高校生・大学生を日本に招聘し、また、日本の高校生・大学生を米国に派遣。

### (2) インターンシップ事業

米国での働き方、企業のあり方への理解を深め、人脈を構築し、将来日米経済関係分野で主導的役割を果たす若者を支援。

## 2 日米関係の基盤を強化する交流

### (1) 日本人研究者育成事業

米国の学術活動についての見識を深め、日米双方において発信力の高い有識者となる研究者を支援。

### (2) 米国主要大学における日本研究支援事業

現代日本政治・外交を専門とする教授職の設置を支援するとともに、現代日本に関連する講義の拡充を支援。

### (3) 議員招聘、アジア系米国人招聘、若手研究者招聘

日米関係の裾野を拡大すべく、議員、アジア系米国人、若手研究者を積極的に招聘する。

### (4) 日本語教育、日本人若手教員派遣プログラムの推進

日本語教育機関への支援と高校への若手日本語教師派遣等を拡充。日米相互理解の媒介となり得る若手教員を派遣

### (5) 文化・芸術交流

2015年に日本美術を紹介する展覧会を米側美術館と共催など。2016年全米桜祭りに文化人の派遣等の支援を大幅拡充。また、2015年にサンフランシスコ及びロサンゼルス「日本祭り」の開催に際し、同様の支援を実施。

## 3 草の根の多様な交流

### (1) 米軍関係者ネットワーク

在日米軍に所属していた者との良好な関係を維持・強化するため、関係組織を強化、交流イベント開催等を通じて、ネットワークの定着を図る。

### (2) POW招聘

第二次世界大戦時の経験に起因した特別の感情を持つ米国人元戦争捕虜を我が国に招聘し、心の和解を促す事業を、本年拡大して実施。

### (3) 親日派のネットワークの維持・強化

帰国留学生及び元JET参加者との在米各公館との意思疎通を強化し、ネットワーク構築を促進する。